

# 発達障害と思春期の支援

2019年6月22日(土) 13:30~15:30  
三鷹駅前コミュニティセンター 大会議室 (三鷹駅南口徒歩5分)

講師 **ヘネシー・澄子氏**

(クロスロード・フォー・ソーシャルワーク社所長・  
東京福祉大学名誉教授 社会福祉学博士  
臨床ソーシャルワーカー)

日本では発達障害と言う診断名が非常に多く使われるようになってきていますが、アメリカでは遺伝に関わる先天的な発達障害と、胎児期からの母親との愛着関係の形成度が問題で、肉体的・知的・精神的・社会的など各分野に発育遅滞が見られる後天的な発達障害と分けて考えられています。

幼少期にはあまり目立たなくて親や周りの大人達の配慮で、問題なく小学校時代を乗り越えて来たのに、中学・高校時代に非行に走ったり、鬱状態になったり、完全に引きこもりの状態になる青少年が日本には多くいます。その原因が、先天性の障害、例えば自閉症スペクトラムの一つであるアスペルガー症状や、遺伝性のADHDなどの場合、周囲の人たちの理解と日常の手助け、本人の自覚と自己調整の努力が必要になってきます。そのうえで、どのような支援をしていくかを、参加者の皆さんと検討していきたいと思っています。沢山の質問を期待しています。

また、講演後には、個別相談の時間を設けてございますので、どうぞご利用ください。

**参加費** 無料

**参加定員** 100人

## 申し込み方法

裏面の申込用紙にご記入の上 FAX・郵送でお申込みいただくか、内容をお電話・メール等でお伝え下さい

## 問い合わせ先

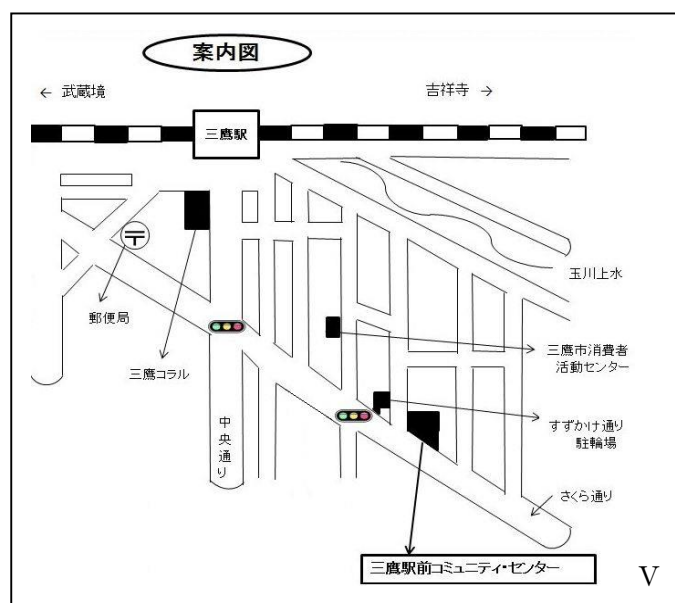
社会福祉法人巣立ち会 (担当 田尾・大竹・高田)

TEL 042-426-8099

FAX 042-444-3525

Mail:repose@sudachikai.eco.to

後援 三鷹市



【講師プロフィール】  
ヘネシー・澄子 氏

東京外国語大学仏語科卒業後、ベルギーとアメリカに留学。ニューヨークのフォーダム大学で社会福祉学修士号を、コロラドのデンバー大学で博士号を獲得。40年弱のソーシャルワークキャリアをアメリカで積んで、H12年に新制の東京福祉大学で実習担当主任教授として日本に単身赴任する。教鞭をとりつつ日本各地で福祉の多分野に渡る講演や、事例研修会を行った。H16年3月帰米、コロラド州オーロラ市に在住し、アメリカの最新援助技術を日本に紹介するクロスロード・フォー・ソーシャルワーク社を夫と共に立ち上げ、日本の児童福祉や精神保健に携わる人達の研修を日・米両国で行っている。トラウマ急性期治療と心的外傷後ストレス障害治療が専門。また現在の日本の児童福祉の課題を虐待予防と愛着関係修復におき、ヘルシー・ファミリーズ・アメリカ(HFA)の親の長所に焦点を当てた育児支援の家庭訪問を日本に紹介することと、コロラド州エヴァーグリーン市のアタッチメント・トリートメント・エンド・トレーニング・インスティテュート(ATTI)の愛着の再形成とトラウマの癒しの技術の紹介に励んでいる。著書に反応性愛着障害を書いた「子を愛せない母・母を拒否する子」(学研社・H16年)と脳からみた子どものトラウマ障害と最新治療法を書いた「気になる子・理解できる・ケアできる」(学研社・H17年)がある。

..... **参加申込書** .....

2019年6月22日(土)の「発達障害と思春期の支援」講演会に参加します。

お名前：

ご所属(あれば)：

お電話番号：

個別相談：            希望する            ・            希望しない            (どちらかに○をお付け下さい)

(講演会後に巣立ち会スタッフによる個別相談の時間を設けます。個別相談を希望される方には、こちらから事前に時間などのお電話をさせていただきます。)

FAX：042-444-3525 (社会福祉法人巣立ち会 ユースメンタルサポート カラー)